



(1500 F))

実用新案登録額(1)

昭和4章年 ル月 ノ日

等許庁長官 嚴

全有 集 者 住所 **发现不存储** (了是) 2%

3 実用新案登録店顧人

新理器分 4 4 8

が て シンヨウワチョウ 住所 愛知県刈谷市昭和町 1 丁目 1 番地

名称 (426)日本電装株式会社

- 4 恐付書類の日盛
 - (1) 明 超 書 1 通
 - (2) 図 面 1 通

48 127(20

1 考集の名称

点火栓用ガスケットリング

2 実用新案登録請求の範囲

端端が外側を向く平板部1を有する点火栓用ガスケットリングにかいて、前記平板部1の接触面上に前記端面に沿って円路部2を設けたことを特徴とする点火栓用ガスケットリング。

3 考案の詳細な説明

本考案は内域機関のシリンダヘッドからの気管 患れを簡止する点火栓用ガスケットリングに関す るものである。

従来の瓜火栓用ガスケットリングは第1凶に示してある第一例のように脳歯部が多いため形状が 複雑となり、製作が容易でなく。 点火栓4 に銀付

(1)

(2)

ァド 5 に爆子箱付されると、前記ガスケァトリングには第 5 図に示す矢印イかよび矢印ロの方向に 点火を 4 の箱付トルクに応じた圧縮力が作用する ため、前記薄曲部 1 Dは歯率が小さく変形抵抗も 小さいので点火を 4 との接触面は糖付トルクに応 して順次ガスケァトリングの外側に移動し、かつ 広がっていくので箱付トルクに比例した圧縮方向 の面圧が得られず、第 9 図に示す歯 緩 ▲ のように 通常積 トルク(1 ¼ ・ 邢~ 5 晌 ・ 卅)内でも 2(∞/min) ~8(∞/min)のシリンダへァド 5 からの気管され があるという欠点がある。

本考案は上記の欠点をなくすために、端値が外 質を向いている平板部を有するガスケットリング にかいて、耐記平板部の要放面上に協記機値に沿 って円周標を設けることにより、製作が容易な形

(3)

!

1

71635

公開実用 昭和50-

状であり、点火性をシリンダへッドに第子箱付後 も点火栓かよびシリンダへッドとの接触面積が小 さく保たれ、接触面の高い面圧でシリンダへッド からの気振洩れを防止する点火栓用ガスケットリ ンダを提供することを目的とするものである。

以下本考案になる点火栓用ガスケットリングの第一実落例を第6 図ないし第8 図について説明すると、ガスケットリングは点火栓 4 に取付けて圧組致めする前でな高6 図に示す如く断面が相対する8 字状の形状となってかり、端頭が該ガスケットリングの外側を向く平板部1 は屈曲部1 a で出出し、被平板部1 の機械面上には簡配端面に沿って円具第2 が設けてあり、圧稠力が顔配平板部1 に作用すれば該平板部1 は顔配円周線2 で答為に属折するよりになっている。また平板部3 は肩曲

١

部3 mで組由し、数平板部3の増面は内側を向いている。 たか、第7 図かよび第8 個にかいて 4 は 点火栓であり、5 は内燃機関のシリンダヘッドで ある。

(5)

71635

公開実用 昭和50-

本考案の点火栓用ガスケットリングを装着した 円燃機調のシリンダヘッドからの気流されに関す

(6)

る実験では第9図に示す幽線Bのように、点火後4の通常補付トルク(144・m~5 kg・m)では改れ量は2(cc/min)以下になり、従来よりもかなり低下した。

なか、上記第一実施例にかいては円周帯2を設けた平板部1が点火径4個になるようガスケットリングを点火径4に租付けたが、減平板部1がシリンダへッド5個になるようガスケットリングを点火径4に租付けても本考案の目的とすることは十分満たされる。

また。第10回に示すように本考案の第二実施 例として、新面が相対する 7 字状のガスケットリ ングにかいて、端面が外側を向く平板弾1の点火 登4 およびシリンダヘッド 5 との接触面上に円岸 課2 を設け、このガスケットリングを点火登4 に

(7)

租付け圧縮錠めを施こすと上配第一実施例と同様に前記平板部1位円開荐2を境に屈折し、その行 間は 国前部1 a に隣接した部分が清監を形成する。 とは 一点 火栓 4 をシリンダへァド 5 に 蝶子 育けると 飲 汚 歯部 に は 人 と な か な か な に は 点 火栓 4 か よ び シリング の ま ま 供 り 、 上記 第一 実 毛 内 で い シ い シ の 気 密 決 れ を 防 ぐ 。

以上述べたように本考案の点火程用ガスケット リンダは、端端が外側を向いている平板部1の姿 舷面上に円局料2を設けてあるから、点火栓に無 付けられシリンダヘッド5に点火栓を螺子網付し ても、点火径4の通常線付トルタ(1年・四~5年・四)

(8)

ドかいては形成された再由部1 b は残ってかり、 点火を4 かよびシリンダヘッド 5 との接触面積が 小さいので接触面の面圧を高く保つことが出来て シリンダヘッド 5 からの気密波れを防止できると いう効果があり、また簡単な形状でよく、製造が 容異である等の優れた効果を有するものである。 4 個面の簡単な説明

第1回は従来の点火役用ガスケットリンダ第一例の断週回、第2回は第1回に示すガスケットリングのシリンダヘッドへの蝶子離付後の断回回。 第3回は従来の点火役用ガスケットリンダ第二例の断週回。第4回は第3回に示すガスケットリングのシリングの点火役用ガスケットリンダのが過過。第5回は第3回に示すガスケットリングのシリンダ

(9)

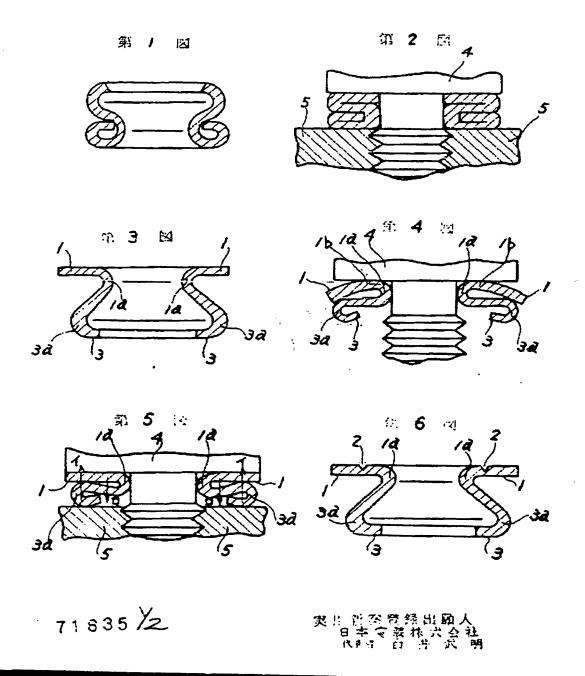
第一実施例の点火栓用ガスケットリングの断面図。 第7 図は第6 図に示すガスケットリングを点火栓 に取付けて圧溜致めした後の断面図。第8 図は第 6 図に示すガスケットリングのシリンダーへッド への螺子補付後の断面図。第9 図は内燃機関のシ リンダヘッドからの気雷波れ特性図。第10 図は 本考案第二架施例の点火栓用ガスケットリングの 断面図で、個中尚符号は同一または均等部分を示 す。

1 --- 平板器, 2 --- 円崩構。

1

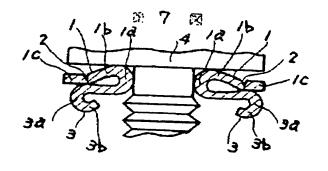
吳用新案登録出頭人 日本電要株式会社 代要者 白井武明

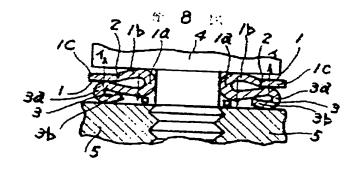
(10)

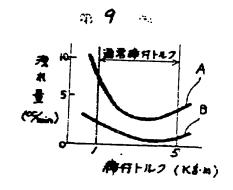


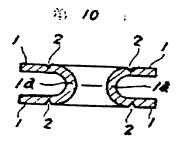
:

/20020712140738060345 off&N0703=1&N0347=&N0348=8N0340-8N0304-05 788









71635 1/2

実刑新零聲絕出願人 日本宗裝標式会者 代表 白 表 武 男

	·	•	
		•	
			·
		t a	
	,		
		: :	
		·	
		•	